

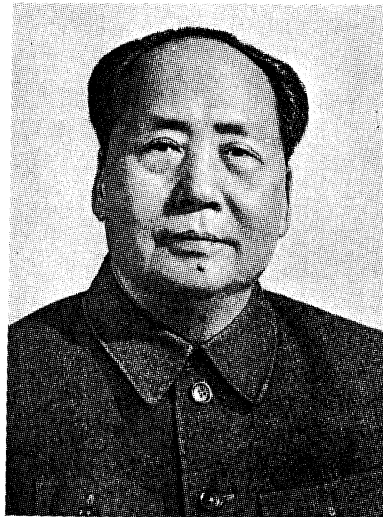
日中戦争 三人の主役



近衛文麿

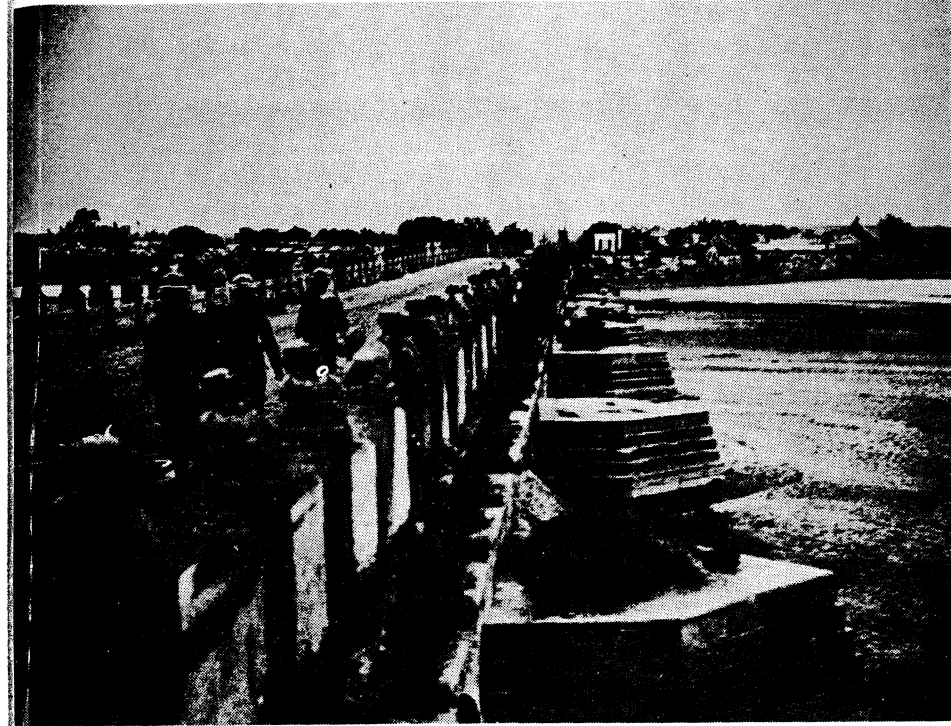


蒋介石



毛沢東

昭和十二年七月七日——平和であるべき
 七夕の夜であった
 北平（現在の北京）西南方十数⁺の河北
 省宛平県蘆溝橋河原で 夜間演習中のわ
 兵（第二十九軍）に 第二十九軍は「不法支那
 信日軍」に それぞれ「銃声」十数発を
 浴びせられた
 事實は「銃声」のみであつて 両軍とも
 被害は皆無だつた しかし両軍とも
 「貴軍の不法な発砲によるものである」と
 とエキサイトし 事実関係の合同調査は
 行なわれたが 犯人不明のまま 日中両
 軍は「悪魔」の仕掛けたワナにずる
 とはまつていつた
 この場合「悪魔」とは大日本帝国と 華
 民国の立場に立つ表現であり 真犯人は
 中国共産党であり 彼の立場に立てば
 「笑いのとまらない大ヒット」であつた
 こうして日本は「日中戦争」「太平洋戦
 争」へと破局の道をすすんだのであつた
 それはともかく 日本は敗れ 国府・蔣
 介石は台湾に そして中国共産党は大
 陸に残つたのであつた……



日中戦争の導火線となった蘆溝橋 右側の白壁が中国
 軍のいた兵舎 この辺から手前にいた日本軍へ銃弾が
 飛んで来たといはれる 橋上の兵隊は演習中のもの

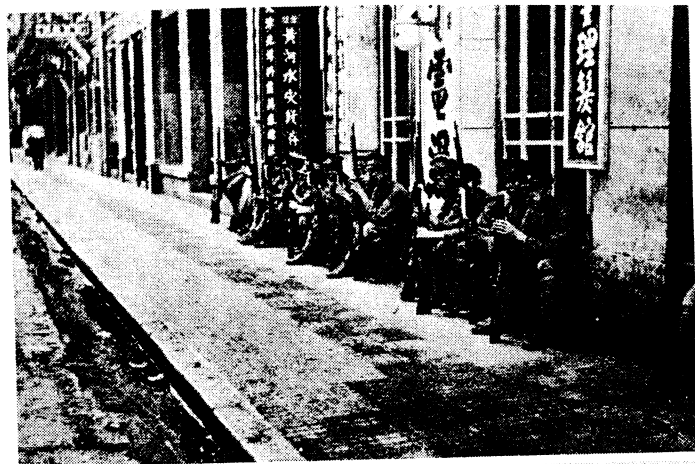


蘆溝橋事件直後 停戦交渉のためナワをよじのぼり中国軍の
 いる宛平城にはいろうとする寺平大尉 この交渉は決裂した



北支派遣軍角部隊（旭川第7師団28連隊）は事件発生と同時に 予備役・後備
 役で編成され 天津―塘沽（タンク）間の守備にあたった もともと重機部
 隊だったが 歩兵銃のみという装備だった また十月に入ると 氷が張るとい
 う寒い北支にあつて 写真のように冬服が支給されたのは十二月だった これ
 らのことから考えてもわが軍に全く侵略の意図がなかったことがわかう 写
 真下はその部隊葬 写真提供は二葉とも大塚かねよさん

予測しなかった事変だっただけに
北支では手がたりず 居留民保護の
ため青年学校の生徒まで動員された



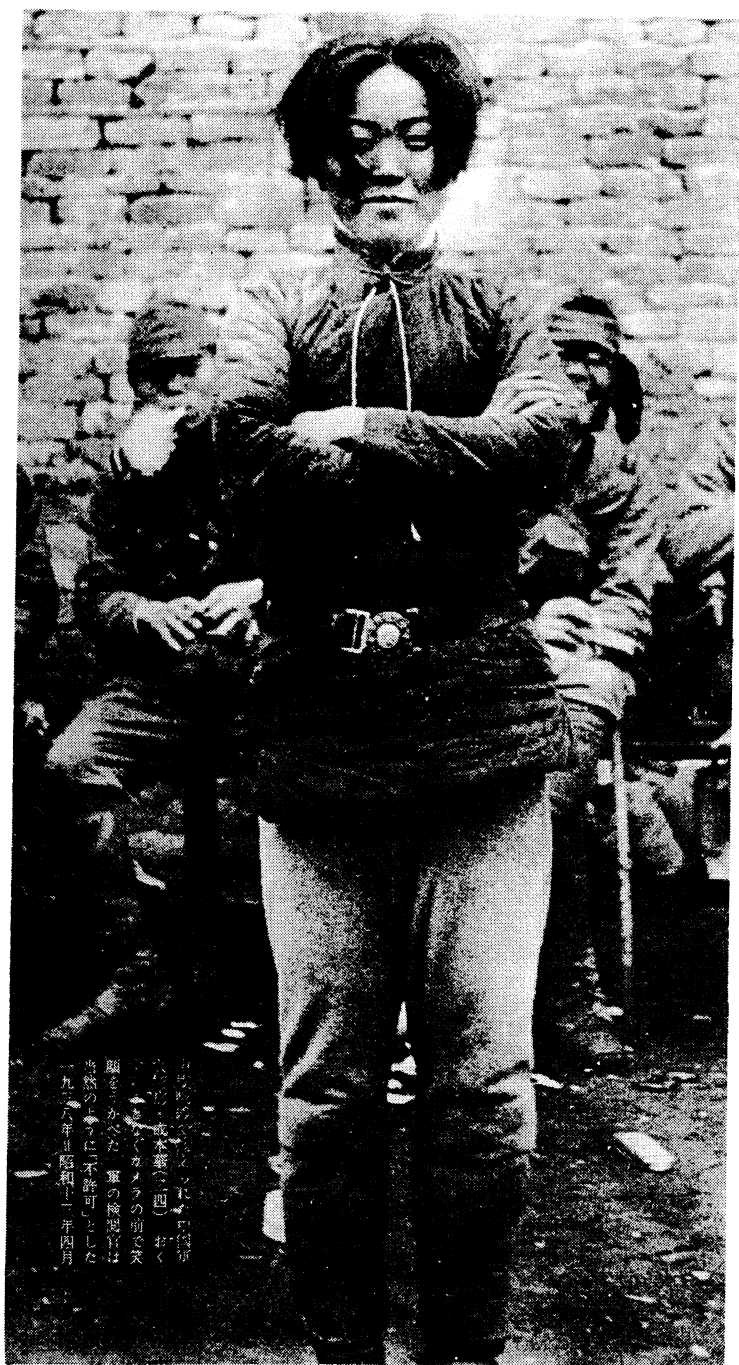
七月二十九日 北京郊外の通州で
抗日軍のために留邦人が虐殺された
解決後にその死体を埋める日本軍



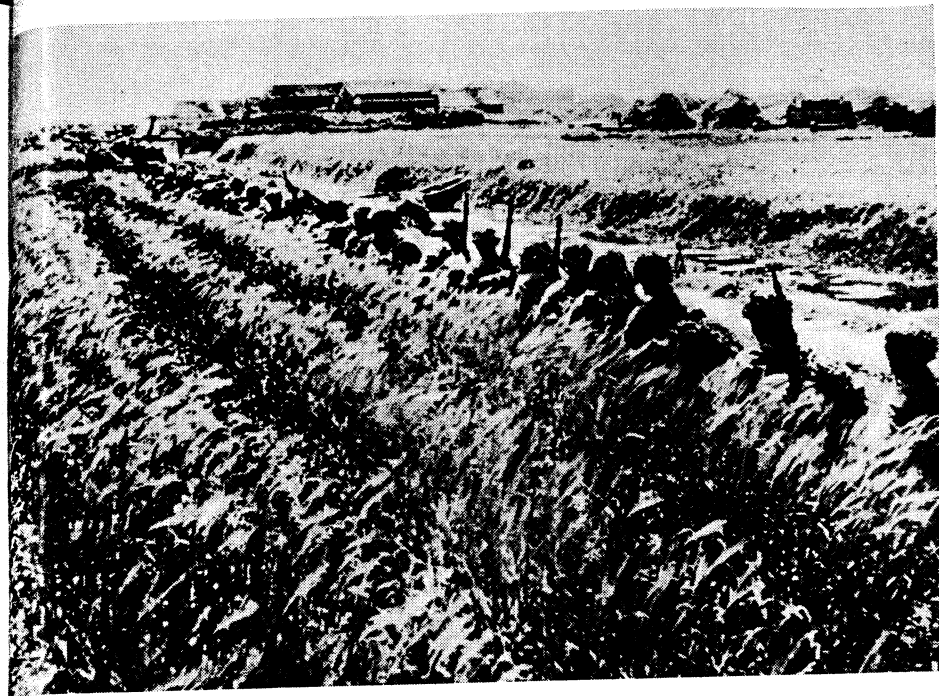
戦友の遺骨を抱いて新しい戦場へ向
かう兵隊たち 先頭の右側の白木の
箱には 石橋部隊長の遺骨が……



中支戦線で捕えられた中国軍女捕虜 成本華(当時二四歳)
臆することなくカメラの前で不敵な笑顔を浮かべている
軍の検閲官は当然のように「不許可」とした写真である



「不許可」とした写真である
軍の検閲官は当然のように「不許可」とした写真である
一九三八年八月十四日 四年四月



徐州徐州と人馬は進む…



昭和十三年四月 徐州作戦は開始された。一兵卒として従軍していた火野葦平氏は、その体験をもとに『麦と兵隊』を書いた。この本は銃後の国民に愛読され、ベスト・セラーとなった。写真右はその本と筆者のプロフィール

日本側のいう『不法支那軍』も、不法支那（中華民国国民政府）側のいう『日軍』も発砲していなかったのに、銃声は蘆溝橋河原の闇にひびきわたった。やはり、日支両軍以外の何者かが、日支両軍にむけて発砲したのである。

——では「何者か」とは何者であったのか。本書は客観的にそれをつきとめた。